

# 裁判所は生コン業界の組合つぶしに加担するな!

## 10/12 大阪2次事件判決報告集会



太田健義弁護士 (10月12日、連合会館)

### ●声を荒げれば威力業務妨害

10月12日、大阪ストライキ2次事件の判決報告集会がひらかれた。

関西生コン弁護団の太田健義弁護士は、「判決要旨には、組合員たちが『大声で乱暴な言動』『時折声を荒げながら』『大声を上げるなどの穏当とは言い難い言動』『強烈に阻害』という表現が随所に出てくる。団体交渉等で『声を荒げ』れば威力業務妨害とされかねない」と批判した。

### ●刑事免責を歪曲、港湾の産別運動にも悪影響

宮里邦雄弁護士(全日建顧問弁護団)は、「一連の行動の目的がひと言も書かれていない。労働組合の団体行動権の行使と認めず、なんの関係もない第三者によるいやがらせとみていることに違和感を感じる。(事件の現場とされたセメント出荷基地などに)組合員がいるかないかと言うことと団体行動権の対象であるかどうかは別問題。こういう発想が定着すると組合活動に対する刑事免責の認識が歪められる」と批判した。

連帯あいさつトップは全港湾の松永秀樹書記長。産別最賃は独占禁止法違反だと称して18春闘以降、業者団体が回答拒否を続けていることを紹介しながら、「どこの港で働いていても同じ賃金・労働条件をめざすのが産別運動だと先輩から教えられた。この判決がまかりとおっていけば港湾の産別運動に当然影響が出る」と危機感を表明した。

福島みずほ(社民党党首)、藤本泰成(平和フォーラム共同代表)、中村ひろこ(I女性会議事務局長)の各氏からも連帯あいさつをいただいた。

\*\*\*\*\*

## 「関西生コンを支援する会」が第2回総会 (10/9)

10月9日、「関西生コンを支援する会」が第2回総会を開催。評論家の佐高信さん(支援する会共同代表)は開会にあたり、「菅首相は竹中平蔵が総務大臣のとき副大臣。菅内閣は竹中平蔵内閣と言ってもいい。関西生コン弾圧とのたたかいは菅内閣打倒のたたかいと一体だ」とあいさつした。

勝島一博事務局長が2019年4月結成いらいの活動経過報告、会計報告、さらに新年度の活動の重点課題を一括提案。拍手で確認した。

